

天気	6	9	12	15	18	21(時)
福岡	☁	☁	☁	☁	☁	50 19
北九州	☁	☁	☁	☁	☁	50 18
山口	☁	☁	☁	☁	☁	50 18
大分	☁	☁	☁	☁	☁	10 20
佐賀	☁	☁	☁	☁	☁	50 19
鹿児島	☁	☁	☁	☁	☁	30 23
那覇	☁	☁	☁	☁	☁	30 24
大阪	☁	☁	☁	☁	☁	70 17
東京	☁	☁	☁	☁	☁	60 14

## ふく笛創案美の世界

### 下関市立美術館 開館30周年展

下関市立美術館で14日、開館30周年記念展「河村幸次郎と美の世界」が始まった。実業家の故・河村幸次郎氏が寄贈した美術コレクションなど約3000点を展示。開会式では約80年前に河村氏が創案し、復刻された郷土玩具「ふく笛」が披露された。

海峽オーケストラの結成や文芸誌への参加など、文化人として下関をリードした河村氏。記念展ではコレクションとしてばかりでなく、文化運動家としての足跡、創作家としての仕事も紹介している。

開会式には、東京から河村氏の長男洋一郎さん(85)と長女美代子さん(70)も出席。美代子さんは「すばらしいふく笛が復活した。下関のシンボルとして未来永劫どなたかに作ってもらい

たい」とあいさつ。昔ながらの色合いで、オリジナルのふく笛をほぼ忠実に再現したという。復刻プロジェクトメンバーの渡辺仁史・早稲田大創造理工学部教授は「河村氏のデザイン力に感心した。感無量です」と話した。

12月23日まで。今月16日は元美術館副館長で前佐賀県有田町教育長の木本信昭さん、12月14日は福岡大人文学部教授の植野健造さんによる記念講演会(無料)が午後2時から開かれる。  
(貞松慎一郎)



故・河村幸次郎氏の長男洋一郎さん(左端)と、長女美代子さんら「ふく笛」を復刻した皆さん＝下関市立美術館